

全国学力・学習状況調査、「基礎・基本」定着状況調査

結果及び今後の取組

学力定着状況を把握し、今後の指導に活かすため、6年生を対象とした全国学力・学習状況調査を4月に、5年生を対象とした広島県の「基礎・基本」定着状況調査の児童質問紙調査を6月に実施しました。その結果と、今後の取組をお知らせします。

○ 全国学力・学習状況調査結果（6年生）

	有磨小	広島県	全国
国語	72	66 (+6)	64 (+8)
算数	73	68 (+5)	67 (+6)



教科等	成果	課題	取組
国語	基礎的・基本的な内容は、ほぼ定着している。	① 文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く ② 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかく	<ul style="list-style-type: none"> 文章のつながりや接続語の役割を意識させ、条件を設定した書く活動を行う。 自分の考えと比べ、共通点や相違点、関連して考えたことを整理し、自分の考えをまとめさせる。 目的に応じて複数の資料から必要な内容を取り上げて文章にまとめる活動を設定する。
算数	基礎的・基本的な内容は、ほぼ定着している。	① 示された計算の仕方を解釈し減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる ② 示された場面において複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の事象について、数量を関連付けて説明させる。 算数的活動を通して、相互の関係や計算の意味を話すようにさせる。 基礎計算速く確実にを行う練習をする。 操作の意味をペア学習において説明をさせる。
生活アンケート	学習に意欲的に取り組む。地域に愛着がある。	① 「自分にはよいところがある。」 ② 「自分の考えが上手く伝わるよう、資料や文章、話の組立などを工夫して発表する。」 上記項目が低い。	<ul style="list-style-type: none"> 児童の良いところを積極的に認める肯定的評価を推進する。 考えを伝えることの意義をとらえさせ、相手を大切にするための対話をさせる。

自発的・計画的な家庭学習が、学力向上のカギ

全国学力・学習状況調査の過去の結果から、学力と学習・生活環境は大いに関連性があり、「学力は家庭学習で向上する」ということがわかってきました。小学校の学習は、将来児童が社会人として自立するための基礎となる大切なものです。学校で児童の学力向上に取り組んでいくと同時に、学校と家庭が連携することで、学習内容がより確かに定着し、学力が伸びていくと考えます。

家庭学習のポイント

- ① 決まった時間に毎日こつこつする**
学校では、各学年に応じた宿題を毎日出しています。学校が休みの日でも例外ではありません。家庭学習はとにかく毎日続けることが大切なのです。習い事やお出かけ等で予定が組みにくい日もあるかと思いますが、その場合は、先に済ませるとかテレビやゲームはなしにするなどして時間を生み出すことも必要になってきます。家族で十分話し合い、実行してください。
- ② 集中して学習する**
学力を伸ばすためには、集中して学習に取り組むことが大切です。長時間学習することで成果が上がるとは言えません。短時間で集中して勉強することが長続きのこつです。学年×10分を目安にして集中して頑張ることを心がけてください。
- ③ 家庭学習をしている時は、テレビを消す**
テレビを見ながら、おやつを食べながらの「ながら勉強」は厳禁です。また、テレビの音が聞こえるような環境も子どもは集中できません。見たい番組はビデオに録画するなどして工夫しましょう。静かに学習できる環境をつくってあげるのは親の役目です。
- ④ 整頓された場所で、よい姿勢で学習する**
整頓された机に向かって、よい姿勢で学習するようにしましょう。マンガやゲームなどが散るようなものが近くにあっては学習に集中できません。親の目が行き届き、本人が安心して落ち着いて集中して学習できる環境づくりが大切です。
- ⑤ 子どものがんばりを認め、ほめて励ます**
親や教師が、子どものがんばりを認め、ほめたり励ましたりすることにより、自信が付き、進んで学習しようという意欲が高まります。つつい親は口うるさくなりがちですが、強制したり、間違いをきつく叱ったりすることは逆効果になります。
- ⑥ 学力アップは規則正しい生活から**
「早寝、早起き、朝ご飯」は、生活リズムの大原則です。生活のリズムを整えましょう。

家庭学習の方法

- (1) 担任から出る「宿題」を最初に取り組ませましょう。
- (2) 時間が余ったら自主学習に取り組ませましょう。
 - ・読書を読みましょう。見えない学力を高めます。
 - ・国語辞典、漢字辞典、その他図鑑を身近に置いて調べましょう。
 - ・日本地図、世界地図、地球儀を身近に置いて調べましょう。
 - ・小学生新聞など、新聞に目を通してみましょう。
 - ・ニュース番組を親子で見話し合ってみましょう。
 - ・自然や生き物とふれあい、観察してみましょう。
 - ・詩歌の暗唱を読みましょう。
 - ・余裕があれば、市販のドリルや問題集にも取り組んでみましょう。
 - ・将棋や囲碁など頭を使うゲームを読みましょう。
 - ・家の仕事を進んでやりましょう。
- (3) どうしても勉強に飽きてしまうときは、読書やお絵かきでも何でも構いませんので、必ず机に向かわせてください。「机に向かう」という習慣が大事です。
- (4) 勉強が終わったら、次の日の準備をさせてください。鉛筆を削り、準備物をしっかりと整え、明日の学習予定をしっかりと頭に入れておくように心掛けてください。